

アレルギー疾患医療拠点病院として 厚生労働省 モデル事業公募

全国の都道府県アレルギー疾患医療拠点病院のうち、7か所が応募・採択された

2023年6月採択通知あり、7月～2024年3月実施

免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業 令和5年度の採択結果について

- 免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業公募要領に基づき、7か所の都道府県アレルギー疾患医療拠点病院からの応募があり、拠点病院から提出された事業計画書等について、本事業に関する審査委員会による書面審査を行い、以下の拠点病院を採択した。

No	都道府県	拠点病院名
1	北海道	北海道大学病院
2	栃木県	獨協医科大学病院
3	東京都	国立成育医療研究センター
4	愛知県	藤田医科大学ばんだね病院
5	三重県	国立病院機構三重病院
6	山口県	山口大学医学部附属病院
7	福岡県	国立病院機構福岡病院

令和5年度免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業

新規 免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業

令和5年度予算案 38百万円 (新規)

1 事業の目的

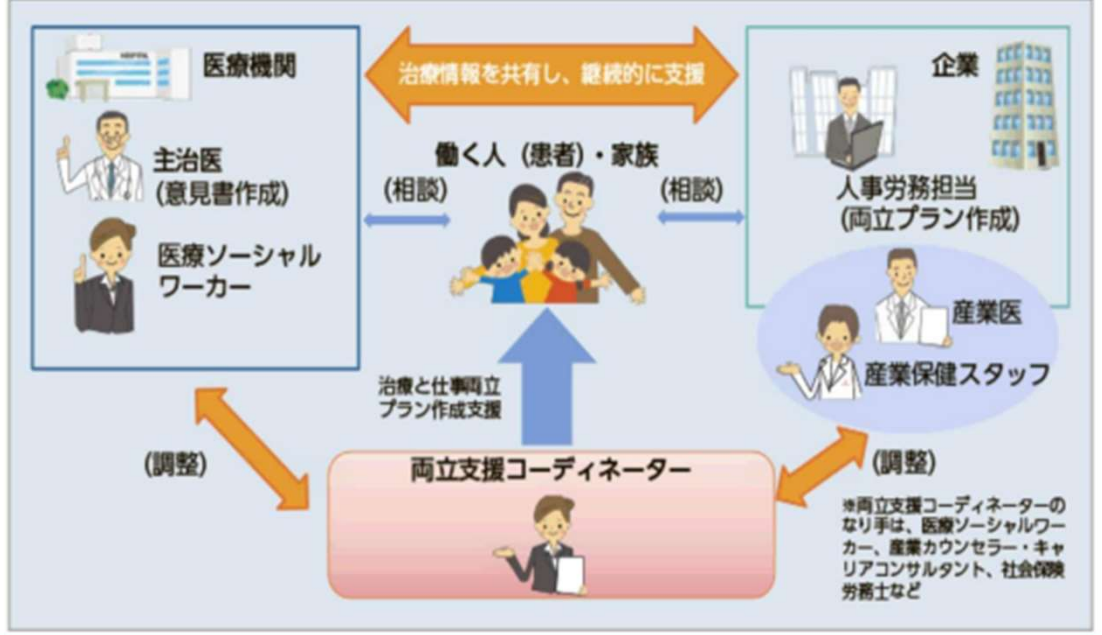
- アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針（平成29年3月21日厚生労働省告示第76号、令和4年3月一部改正）において、国は、アレルギー疾患を有する者が適切なアレルギー疾患医療を受けながら、本人又はその家族が就労を維持できるような環境の整備等に関する施策について各事業主団体に対し、周知を図ることとされている。
- 厚生労働科学研究において、免疫アレルギー疾患のために、就職に不利になった方、仕事量や内容が制限された方、仕事のために通院が制限された結果、症状が悪化した方や子どものアレルギー疾患の治療や通院等のために仕事が制限されている方が一定数いるという問題点が明らかになっており、免疫アレルギー疾患患者又はその家族が安心して治療と仕事を両立できることを目的とする。

2 事業の概要・スキーム

<事業の概要>

- 免疫アレルギー疾患患者又はその家族が安心して仕事の継続や復職に臨めるよう、都道府県アレルギー疾患医療拠点病院に「両立支援コーディネーター」を配置する。
- 都道府県アレルギー疾患医療拠点病院において、両立支援コーディネーターが中心となり、免疫アレルギー疾患患者又はその家族の個々の治療、生活、勤務状況等に応じた、治療と仕事の両立に係る計画を立て、支援を行うモデル事業を実施する。

<事業イメージ>





藤田医科大学総合アレルギーセンター両立支援体制

アレルギー疾患患者

診察

面談
両立支援プラン作成

総合アレルギーセンター

- 総合アレルギー科
- 呼吸器内科
- 小児科
- 皮膚科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 消化器内科

小児科医師1名、研究員1名、事務員1名が
両立支援コーディネーター基礎研修を修了

第1・3水曜日
カンファレンス

両立支援コーディネーター
医療ソーシャルワーカー(MSW)

情報共有・支援内容検討・フォローアップ

多職種運営委員会
第3木曜日開催

看護部・薬剤部・検査部・事務部・施設課・食養部

令和5年度免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業

藤田医科大学 総合アレルギーセンター
FUJITA HEALTH UNIVERSITY GENERAL ALLERGY CENTER

ご利用の方は藤田医科大学ばんだね病院まで
TEL:052-321-8171 (診療受付は11:30まで)

交通アクセス

当センターについて 診療案内 受診方法 研究・業績 研修 連携 活動情報 治療と仕事の両立アレルギー情報ステーション

Google 提供

治療と仕事の両立支援

TOP

TOP 両立支援事例集

治療と仕事の両立支援

◆ 令和5年度免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業 ◆

アレルギー疾患患者さんが適切な治療を受けながら仕事・学業を続けるための支援システムを構築し、2023年10月から運用を開始しました。アレルギー疾患の治療を受けながら安心して仕事の継続や学業に臨める環境整備を目的に、厚生労働省が「令和5年度免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業実施法人」を公募、2023年6月に当センターがモデル事業に採択されました。

当センターが構築した両立支援システムでは、ばんだね病院の「治療と就学・就労支援チーム」が患者さん個々の症状や状況を総合的に考慮した就学・就労環境を提案し、患者さんのかかりつけ医、企業の産業医・労務担当者、学校と病状や治療計画を共有。患者さんが就労・就学を継続するため必要な支援をチームでサポートします。

両立支援面談予約日：第2火曜日・第4木曜日（診療科受診時にお尋ねください）

総合アレルギーセンターHPに「治療と仕事の両立支援」のページを増設

相談窓口

アレルギー疾患の治療と就学・就労の両立でお悩みのご相談にお答えいたします。

- アレルギー疾患の治療と就学・就労の両立についての質問に無料でお答えいたします。
- アレルギー疾患全般に関する心配事や悩み事については[こちらのページへ](#)
- 患者さんやそのご家族だけでなく、医療従事者、教育関係者、企業の皆さまなどアレルギーに関する様々な業種の方からのご相談にも対応いたします。どうぞお気軽にご相談ください。

※相談窓口は、一般の方へのアレルギー疾患に関する適切な情報提供およびアレルギー診療に関わる医療従事者や教育関係者等への人材育成のための情報提供を目的としております。
※相談窓口を利用して診察を行うことはできません。
※回答によって症状が改善されなかったとしても責任を負うものではありません。

入力フォームは以下のアイコンをクリックしてください。

治療と就学・就労の両立のご相談

注意事項

- お問い合わせの内容によっては、数日以上のお時間をいただく場合やお答えできない場合がございます。
- 当センターから回答いたしましたメールは、個人にあてたものです。メールの一部または全部の転用、二次利用はご遠慮ください。
- お問合せのためにご入力いただいたお名前、回答先メールアドレス、居住地などの個人情報（その他いただいた情報のうち個人情報に該当するものを含む）およびお問い合わせの内容の利用目的は、次のとおりです。

総合アレルギーセンターHP内にGoogleフォームによる「治療と仕事の両立支援」の相談窓口を設置

令和5年度免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業

【治療と仕事の両立支援 企業向け勉強会@Hoyu(株)総合研究所】

・11月13日(月)

・参加者:77名参加

研究所の管理職、工場の管理職、本社の労務管理部門、その他参加希望者



【参加者アンケート(77名分)より】

・自身もしくは周りの方でアレルギー疾患が就労に大きく影響した:70.1%

・社内でアレルギー疾患に関わる相談をしたりされたりしたことがある:64.9%

・勉強会后、アレルギー疾患が就労に影響する可能性があることを理解した:100%

・自身や周りで治療と就学就労の両立に困っている人がいたら両立支援を活用したい:100%

・アレルギー疾患でも両立支援指導料を保険適用にすべき:94.8%



アレルギー患者さんは困っています！

両立支援コーディネーターとは

1. アレルギー疾患を持つ患者さんと職場とのコミュニケーションが円滑に行えるよう、患者さん本人の相談支援及び情報提供を行います。
2. アレルギー疾患を持つ患者さんが、仕事と治療を両立できるようにするにはどうしたらよいか、患者さん本人が考えます。
3. 両立支援に関わる多職種チーム内で、患者さんの仕事の両立に関する問題を共有し、どのような支援を行うか、患者さん本人へ提案します。